

JR東日本労働組合

秋田ジャーナル

JR東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ～ 佐藤 俊樹

編集者 ～ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060

冬期対策要求をまとめる！

～ 2017年度冬期対策要求を支社に提出 ～

【秋田鉄道サービス・弘前営業所】

- 1、パンタグラフ離線時の対応講習会には、作業責任者も含めて全社員の受講をされたい。

【秋田駅】

- 1、秋田駅表2番よりMCRが出動する時に操車を付けて誘導するが、操車担当者を付ける根拠を明らかにされたい。

【横手運輸区】

- 1、北上線の735Dを増結とされたい。
- 2、大曲駅の850M入換作業は、凍結・積雪等により幌の装着作業が困難を極めると思われるが、しっかりと安全作業が出来るようにされたい。
- 3、大曲～神宮寺間の防風柵設置に対し、風向きを検証されたのか明らかにされたい。

【秋田車両センター】

- 1、除雪留置線での仕業検査は、サービスデッキもなく不安全のため止められたい。
- 2、SG交検線での夜間仕業検査は安全通路もなく、除雪もされないので止められたい。
- 3、交検線2、3番線のピット、天井灯の整備をされたい。
- 4、修繕線5番線の外の蒸気管が破れているので修理されたい。
- 5、交検線3番北側は暗いので照明を設置されたい。
- 6、洗浄線3番のPan点検台が歪んでいるので修理されたい。

【秋田鉄道サービス・秋田車両センター営業所】

- 1、例年、深夜帯に線閉手続きを行い構内除雪を実施しているが、作業員の安全確保でもあるが、寒さが厳しい時、構内に車両がたくさん留置されている状況での除雪作業は効率が上がらないので、日中時間帯に変更し安全で効率的な除雪作業を行われたい。
- 2、事務所北出入口にも除雪用具と融雪剤を配備されたい。
- 3、寝室の窓側が寒いので防寒対策をされたい。
- 4、庫内に入線した連結対象車両の幌周りや自連周りの除雪をされたい。
- 5、操車F番の1人作業を解消されたい。
- 6、22時過ぎに転削線から検修線へのキハ48系の入換えを解消されたい。

- 7、信号扱所に TID を設置されたい。
- 8、801 号ポイントは暗くて見えないため照明を設置されたい。
- 9、限定運転士に冬ズボンを貸与されたい。
- 10、洗浄作業庫の蒸気漏れを修理されたい。
- 11、降雪期の手歯止め装着は、雪により阻害されるため手歯止め周辺の除雪をされたい。
- 12、着発線は留置車両の留置位置が決まっているので、車両がない時に除雪をされたい。
- 13、秋田駅構内にある地上設置型入換信号機の手前に融雪マットを設置されたい。
(46R、51 R、39 R、126 R、132 L、127 L)
- 14、回送 636M の出区点検場所を変更されたい。
- 15、着発線新幹線南方運転台に合わせ、昇降台を早急に設置されたい。
- 16、2041M の留置箇所は線間通路が砂利のままで足場が悪いため、通路を整備されたい。

地方本部は 11 月 20 日に上記の冬期要求を支社に提出しました。冬の到来が今年は早まるようです。冬期を安全安定輸送で乗り切るためのみならず、現場で働く社員共通の安全作業に直結する要求です。是非職場でも解決に向けて取組みを進め団交に臨みます。

年末手当の回答に不満の声!

本部は、『3・18ヶ月を会社側が「最終回答」と言う姿勢を崩さない事から、納得感は無いのものの、この悔しさを次の闘いにつなげる決意をもって妥結した経緯を明らかにし、要求額で0・42ヶ月分下回り、55歳以上、エルダー、グリーンスタッフへの加算が見送られた事を踏まえてお詫びする。』という「2017年度年末手当妥結に関する見解」を発しています。

若い他労組組合員からも「過去最高の増収増益でも昨年と同じ。昨年よりもアップするかと思ったが・・・。」「本来業務以外にも頑張っているのに昨年と同じとは。もう少し上げても・・・。」そんな声が聞かれました。

不満の声を吸い上げ、団交で要求獲得への凄みをもたらすためにもJR発足30年・あらゆる労働条件、労働環境の総点検行動、2018春闘の闘いを職場から作り上げていきましょう!!



新潟地本でJR採用 1名加入!

～ 11月15日付・組合員のための組合を一緒に創りましょう ～